

# 【教育相談・進路指導論】 (MB601-TC33) [教職課程 必修科目 (配当年次: 第3学年)]

単 位: 2単位	単位認定者: 西村宗一郎 (オムニバス)
授業期間: 後期 (土2) 15 コマ	科目分担者: 落合賀津子 (オムニバス)
授業形態: 講義 週 1 コマ	

科 目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目
各科目に含めることが必要な事項	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
授業の目的	本授業では、教育相談と進路指導の理論と技法を習得することを目標とする。 教育相談では、基本的なカウンセリング理論や技法を理解するとともに、学校における教育相談の役割や連携のあり方についての考えを深める。教職員や関係者との連携に必要なコミュニケーション能力の向上を図る。 一方、進路指導では、将来の職業選択や仕事を通じて豊かに生きるためには、キャリア教育が重要であることを理解するとともに、自らのキャリア育成とキャリア形成を考える。
教育内容	教育相談活動における基本的なカウンセリング理論や技法を学ぶとともに、学校における心の諸問題の理解と教師としての対応や連携のあり方について学ぶ。 キャリア教育の理解とその実践例について検討する。
教育方法	[教育方法] 必要に応じて資料を配布し、授業の内容によっては、グループワークや意見・感想の発表などの演習も行う。 [フィードバック方法] グループワークや意見・感想の発表などの演習に関しては講義内及び個別にコメントを行う。

## 講義内容 (シラバス)

回	項 目	担当者	授業内容
1 回	オリエンテーション 生徒指導と教育相談	西村	授業の進め方及び成績評価の方法等を理解する。学校教育相談の歴史や意義について理解する。
2 回	教育相談の意義と理論 (1)	西村	教育相談における教員の役割及び必要な知識や技術等の全体像について理解する。
3 回	教育相談の方法 (1)	落合	学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解する。
4 回	教育相談の方法 (2)	落合	受容、傾聴、共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を身に付ける。
5 回	教育相談の展開 (1)	西村	職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を学ぶ。
6 回	教育相談の展開 (2)	西村	地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解する。
7 回	教育相談の展開 (3) - 1 問題の理解と対応	西村	教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性を理解する。
8 回	進路指導・キャリア教育の意義及び理論 (1)	西村	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け。職業指導からはじまる、進路指導の歴史を学ぶ。
9 回	進路指導・キャリア教育の意義及び理論 (2)	西村	学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方。特に生徒指導との関連を理解する。
10 回	進路指導・キャリア教育の意義及び理論 (3)	西村	進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係諸機関との連携の在り方を理解する。
11 回	キャリア・ガイダンスとしての指導 (1)	西村	職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラム・マネジメントの意義を理解する。
12 回	キャリア・ガイダンスとしての指導 (2)	西村	進路指導からキャリア教育への変遷を理解するとともに、キャリア教育で育成すべき力を学ぶ。
13 回	キャリア・カウンセリングとしての指導 (1)	西村	マッチング理論からキャリア発達論を理解する。能力適性による職業選択から、キャリア発達の視点からの職業観を学ぶ。
14 回	キャリア・カウンセリングとしての指導 (2)	西村	生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を理解し、自己の将来設計図を作成することができる。
15 回	まとめ	西村	これまでの学習をまとめるとともに、中学校・高校におけるキャリア教育の実践例や課題について理解する。(教育相談論のまとめも行う)

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校における教育相談の意義と課題を理解している。</li> <li>2) 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</li> <li>3) 生徒の不適応や問題行動の意味並びに生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。</li> <li>4) 学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性や基本的な姿勢や技法を理解している。</li> <li>5) いじめ、不登校、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。</li> <li>6) 教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。</li> <li>7) 学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。</li> <li>8) 教育相談及び進路指導・キャリア教育の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取り組みの必要性を理解している。</li> <li>9) 進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係諸機関との連携の在り方を理解している。</li> <li>10) 主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。</li> </ol>
評価基準	提出物（70%）、毎回の振り返りペーパーを含む授業への取り組み状況（30%）
準備学習 (予習・復習)	【予習】（90分）事前にシラバスを熟読し、理解しておくとともに、指導法などの研究に努める。 【復習】（30分）講義内容の復習とまとめ
その他	授業への主体的な参加を期待するとともに、教職に就く者としての自覚を持ち指導力の向上に努めてもらいたい。

	(書名)	(著者名)	(出版社名)	(定価)
教科書	なし			
参考書	生徒指導提要	文部科学省	文部科学省 WEB サイトに公開	
	その他の参考書・副読本等については講義の中で紹介する。			